



自動車用加工性冷間圧延高張力鋼板及び鋼帶

JIS G 3135 : 2018

(JISF)

平成 30 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

| 氏名 | 所属 |
|-------------|-------------------------------|
| (委員会長) 長井 寿 | 国立研究開発法人物質・材料研究機構 |
| (委員) 相浦 直 | 一般社団法人軽金属溶接協会 |
| 粟飯原 周二 | 東京大学 |
| 一谷 隆 | 高圧ガス保安協会 |
| 井上 謙 | 一般社団法人日本産業機械工業会 |
| 伊吹山 正浩 | 一般社団法人日本ファインセラミックス協会（デンカ株式会社） |
| 鎌土 重晴 | 一般社団法人日本マグネシウム協会（長岡技術科学大学） |
| 倉品 秀夫 | 公益社団法人自動車技術会（三菱自動車工業株式会社） |
| 里達雄 | 東京工業大学名誉教授 |
| 篠崎 和夫 | 東京工業大学 |
| 田中 一彦 | 一般社団法人日本電機工業会 |
| 千葉 光一 | 関西学院大学 |
| 長谷川 隆代 | 昭和電線ホールディングス株式会社 |
| 半田 雅俊 | 一般社団法人日本建設業連合会（戸田建設株式会社） |
| 藤田 篤史 | 日本冶金工業株式会社 |
| 吉主 泰子 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟 |
| 水沼 渉 | 一般社団法人日本溶接協会 |
| 山口 富子 | 九州工業大学 |
| 吉田 仁美 | 一般財團法人建材試験センター |

主務大臣：経済産業大臣 制定：昭和 61.7.1 改正：平成 30.8.20

官報公示：平成 30.8.20

原案作成者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826）

審議部会：日本工業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会（委員会長 長井 寿）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|-------------------------------------|-----|
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 種類の記号及び適用厚さ | 1 |
| 4 化学成分 | 2 |
| 5 機械的性質 | 2 |
| 5.1 引張強さ、降伏点又は耐力、伸び及び塗装焼付硬化量 | 2 |
| 5.2 曲げ性 | 3 |
| 6 寸法及び許容差 | 3 |
| 6.1 寸法の表し方 | 3 |
| 6.2 標準厚さ | 3 |
| 6.3 厚さ、幅及び長さの許容差 | 4 |
| 7 形状 | 5 |
| 7.1 鋼板の平たん度 | 5 |
| 7.2 横曲がり | 5 |
| 7.3 直角度 | 6 |
| 8 質量 | 7 |
| 9 外観 | 7 |
| 10 塗油 | 7 |
| 11 機械試験 | 7 |
| 11.1 機械試験の一般事項 | 7 |
| 11.2 引張試験 | 8 |
| 11.3 曲げ試験 | 8 |
| 11.4 塗装焼付硬化量試験 | 8 |
| 12 検査 | 8 |
| 12.1 検査 | 8 |
| 12.2 再検査 | 9 |
| 13 表示 | 9 |
| 14 注文時の確認事項 | 9 |
| 15 報告 | 9 |
| 附属書 A (規定) 塗装焼付硬化量試験方法 | 10 |
| 解 説 | 12 |

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3135:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

日本工業規格

JIS

G 3135 : 2018

自動車用加工性冷間圧延高張力鋼板及び鋼帯

Cold-reduced high strength steel sheet and strip with improved formability
for automobile uses

1 適用範囲

この規格は、主に自動車、電気機器、建築材料などに用いる加工性の良い冷間圧延高張力鋼板（以下、鋼板という。）及び冷間圧延高張力鋼帯（以下、鋼帯という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品－検査文書

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2248 金属材料曲げ試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 種類の記号及び適用厚さ

鋼板及び鋼帯は13種類とし、種類の記号及び適用厚さは、表1による。